



名君 島津齊彬公 新工業を開かれし

校長 田代 裕一郎



標記のように、「校歌」の3番の歌詞には維新の立役者となった齊彬公の名前があり、私たちの自慢のひとつです。今年度は明治維新150周年ということもあり、NHK大河ドラマでは維新三傑のひとり「西郷どん」が全国放映されています。改めて齊彬公の業績や西郷さんの命をかけた活躍を知る機会をいただき、生徒の皆さんも毎週楽しみにしていることでしょう。

私もこの機会にと、西郷さんの足跡をたどり、主に生活していた4か所を巡ってみました。①生誕の地である鹿児島市下加治屋町の甲突川近く、②糸夫人と結ばれ波瀾万丈の時を過ごした鹿児島中央駅前の共研公園内の宅地跡、③新しい日本の基礎作りに大きな役割を果たし征韓論を巡る主張が叶わず、故郷鹿児島へ帰国した時に移り住んだ武屋敷跡(庄内藩の人たちが教えを請うたり家老菅実秀公と向かい合い「徳の交わり」を誓い合ったりした所)、④西郷さんが青年時代困窮した家計を助けるために開墾し、西南戦争の時には妻糸が11人の家族と生活していた野屋敷跡。150年前、ここに西郷さんたちが雄大な桜島を見ながら生活していたと思うと不思議に力が沸いてきます。生徒の皆さんも自信を失ったときなどパワーをもらいに訪れてみたらどうでしょうか。



110周年記念ロゴマーク

入学式

平成30年度の入学式が4月9日(月)に本校体育館で行われました。大きな期待と希望にあふれた初々しい姿の生徒達360名が入学しました。

1年3組の武智稀君が、新入生を代表しその決意を宣誓しました。鹿工の輝ける伝統を引き継ぎ、そして、新しい歴史を拓いていくため、多くのことに挑戦し、進路実現を目指し、ベストを尽くしてくれることを願っています。

式の最後には、毎年恒例の生徒会有志によるエールと寮生による校歌披露が行われ、新入生にとって思い出深い良き日となりました。



学校長式辞



新入生代表宣誓



生徒有志によるエール



寮生による校歌紹介

歓迎の言葉

生徒会長 電気技術系3年1組 永井 海人(田皆中)



新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。在校生一同、心から歓迎いたします。

皆さんは鹿工に入るために一生懸命努力し、勉強されたことと思います。このことは皆さんにとって大きな自信になったことでしょう。その自信を決して忘れないでください。

皆さんがこれから過ごす高校3年間は、人生の目標を定め、その目標に向かって前進するというとても重要な時期です。時には自分の思いどおりにいかず、勉強や部活動など苦しく辛いことが待ち受けているでしょう。そんな時、「自分はやればできる」という気持ちを思い出して欲しいと思います。

皆さんの可能性は無限大です。そのことを忘れないで、これからの高校3年間、勉強や部活動などを有意義なものにしていきましょう。

鹿児島工業高校に入学して

I類 1年3組 武 智稀(吉野東中)



憧れの鹿児島工業高校に入学して、最初は不安でしたが、時間が経つにつれてその不安も消えていきました。クラスの間なども仲良くなり、先生や先輩方が優しく接してくださるおかげでとても充実した高校生活を送っています。

勉強と部活動を両立させつつ、資格取得を目指して日々努力し、これからの3年間で充実したものになるよう精一杯頑張りたいと思います。

対面式

4月10日(火)、本校体育館において対面式が行われました。この対面式は、全校生徒が一堂に会する初めての行事ということもあり、新入生だけでなく2・3年生もどこか緊張した面持ちで始まりました。

生徒会長の永井海人さんの歓迎の言葉に続き、新入生代表の1年8組中俣淳之介さん(田崎中)が、鹿工生としての決意を堂々と語ってくれました。その後3年生から1年生へ生徒手帳が手渡され、和やかな雰囲気の中で、無事対面式が終了しました。1年生も鹿工生の一員となり、これから全生徒一丸となって鹿児島工業高校を盛り上げていきたいと思います。



生徒手帳授与



新入生代表



永井生徒会長



クラス紹介

部活動紹介

4月10日(火)の5・6校時に、本校体育館で部活動紹介が行われました。各部活動・同好会は限られた時間の中で、新入部員獲得に向けて、工夫を凝らして紹介をしました。慣れない環境で緊張の連続であった新入生にとって、この一時だけは緊張感から解放されたようでした。多くの生徒が部活動に入部し、学業と両立させながら、鹿工を盛り上げる活躍をしていくことと期待しています。



卓球部



ラグビー部



柔道部



メカトロ部



ボクシング部

自分自身の価値を高めるために

生徒指導部 堀口 晃

平成30年度を全校生徒1,068人(男子928人, 女子140人)で元気にスタートすることができ、創立110周年の節目を迎える鹿工の新しいページがめくられました。これから鹿工生全員によって色々な光景や成果が色鮮やかにこのページに書き込まれることと思います。「チーム鹿工」を意識して、全員が大きく成長する実り多い年にしましょう。先日晒したように、誰でも共通に525,600分/年です。浪費せずに有効に活用してください。また、今年度は以下の3点を重点目標に掲げました。一人一人が常に意識して生活をしてください。



1 自己肯定感の向上

一人一人の存在が学校においても社会においても価値ある必要な存在であるということを常に意識する。一人一人に大切な役割があるのです。その上で何事に対しても前向きに捉え、責任ある行動をとることによって更なる自身の成長と価値が高められます。スクールカラーの「紫」も、1,068色の二つと無い色が混ざり合って鮮やかな「紫」になるのです。勇気をもって何事にも臆することなく挑戦してください。

2 「凡事徹底」

目まぐるしく変化する世の中で、どのような社会状況になろうとも、自分自身を財産として活躍できる人材になるために、「当たり前」のことを誰にも負けないくらい一所懸命やり続ける」ことを常に意識してしっかり習慣づける。

いいかげんなことをしない

特に「挨拶と掃除」は、チャンスをつかむための準備作業です。人が見ていない所こそ、誰よりも手を抜かずに取り組む。そんな人財になる。(整理整頓をはじめ、挨拶・門礼、話を聴く姿勢、掃除などを誰にも負けないくらいきちんとする。全ては日常生活です。)

3 「精進」

本校の校訓の最初に掲げられているとおり、日々向上を目指して努力する、何事にも集中して取り組むという意味です。「ま、いいか」と手を抜くことなく、自分自身が向上するためにも「いいかげんなことをしない」を常に意識してください。

全ては日常生活が基本で、あらゆる場面にその結果が出てきます。



110周年記念
イメージキャラクター

登下校時の自転車や徒歩における安全確認は勿論のこと、公共交通機関や公共施設におけるマナーを大切に、常に周囲に対する気配り、目配り、思いやりを忘れずに行動してください。「チーム鹿工」のメンバーであることを忘れずに。

全国選抜大会に出場して

ハンドボール部

主将 電子機械系3年2組 野村 鳳人(重富中)

私たちハンドボール部は、3月に兵庫県神戸市で開催された全国選抜大会に出場しました。対戦相手は関東ブロック代表の浦和実業高校(埼玉県)でした。昨年度の大会で初戦敗退し、今年こそは初戦突破をと決意して試合に臨みましたが、40-18で敗れました。内容も完敗で、自分たちの力のなさと、今のままでは全く全国大会では通用しないことを痛感しました。出場に際して、御支援いただいたOBの皆様や、応援いただいた方々に感謝し、次はインターハイで全国の舞台を勝ち上がれるよう努力していきます。ありがとうございました。



卓球部

工業化学系3年 田島 敦史(田崎中)

3月25日(日)から福井県営体育館で行われた全国選抜卓球大会にシングルスで出場しました。

対戦相手は、山梨県と大阪府の代表選手で、3人リーグで戦いました。一試合目の山梨県の選手とは、5セットマッチで2対3で負けてしまいました。大阪府の選手とは0対3と完敗でした。

全国のレベルの高さ、そして自分の力の未熟さをよく感じる事ができました。応援してくださった保護者、顧問の先生への感謝の気持ちを忘れず今後は練習に励んでいきたいです。



空手道部

主将 電子機械系3年1組 富迫 佳悟(伊敷台中)

3月26日(月)から3月28日(水)に香川県で行われた、『全国選抜空手道競技大会』に出場しました。男子形の部で初戦、群馬県前橋工業と対戦しましたが、緊張もあり身体が重くいつもの自分の形を演武することができず、初戦を突破することができませんでした。

初戦敗退という結果でしたが、2回連続して全国選抜出場の経験ができたのも、日頃から指導してくださる先生や保護者、OBの方々のおかげです。

感謝の気持ちを常に持ち、練習に励み高校最後のインターハイに出場して多くの勝利を得られるよう努力しますので、応援よろしくお願いします。

